

同時資料配布先：

学研都市記者クラブ  
経済産業省記者会

2015年1月23日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

平成26年度ALPS国際シンポジウム  
－気候変動問題のための実効性ある枠組みと評価 COP21にむけて  
開催のご案内

気候変動枠組条約では、新たに実効ある枠組み構築について議論がなされています。その枠組みと各国の2020年以降の約束草案提出は、2015年12月パリにおけるCOP21までになされる予定ですが、合意への道のりは平坦ではありません。日本も約束草案提出に向けて、エネルギーミックス計画を打ち出す必要があります。このように、今年はエネルギーおよび気候変動において、政策決定の重要な時期となります。

当機構では、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」(通称ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization)を実施しています。本事業では、グリーン成長につなげていくためには、温室効果ガス排出削減を中心とする温暖化緩和、温暖化の影響への適応策をどのように進めるべきなのか、また、どのような政策が有効なのか、に焦点を当てた研究を行っています。このたび、本事業の平成26年度成果報告会として標記シンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムには、この分野で活躍している国内外の著名な専門家をお招きし、ご講演頂きます。2020年以降の排出削減に向けて、地球温暖化を抑制して持続可能な社会を実現するために必要な政策について、幅広い方々が最新の研究成果をもとに深く考えられる機会にしたいと考えますので多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

## 1. 開催概要

主催：公益財団法人地球環境産業技術研究機構

共催：経済産業省

日時：2015年2月27日(金) 10:00-17:35

会場：大手町サンケイプラザ(東京都千代田区大手町1-7-2)

参加費：無料

定員：200名程度

プログラム：

講演1 COP21への約束草案作成に向けたわが国の取組み

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 研究所長 山地 憲治

講演2 気候感度の不確定性を考慮した排出パスの再検討

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 理事長 茅 陽一

- 講演3 パリへの道：地球規模の誓約から各国約束とコベネフィットへ  
国際応用システム分析研究所 副所長 ネボーシャ・ナキシエノビッチ
- 講演4 2020年以降の気候政策の評価：排出パス、投資、ファイナンス  
ヴェネツィア大学 教授 カルロ・カラーロ
- 講演5 地球温暖化のリスク管理戦略  
一般財団法人電力中央研究所 上席研究員 杉山 大志
- 講演6 次期排出削減枠組み策定における削減努力の衡平性指標  
デューク大学 教授 ウィリアム・パイザー
- 講演7 排出緩和の寄与の評価  
ハーバード・ケネディスクール 助教授 ジョゼフ・アルディ
- 講演8 2020年以降の排出削減目標に関する排出削減努力の評価  
公益財団法人地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ  
グループリーダー 秋元 圭吾

(詳細は別紙リーフレットをご参照ください。)

URL:<http://www.rite.or.jp/Japanese/lab/sysken/etc/Event/ALPSIIsymposium/ALPSsymposium2015-info.pdf> )

## 2. 参加登録

参加希望される方は、FAX 参加申込用紙に必要事項をご記入の上、2月20日(金)までにお申し込み下さい。定員になり次第、締め切らせて頂きますので、あらかじめご了承ください。

## 3. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方は、事前に参加申込み下さいますようお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

### 本件に関するお問合せ先

- ・ シンポジウム内容・参加登録に関するお問合せ先

システム研究グループ

TEL : 0774-75-2304 FAX : 0774-75-2317

- ・ 広報に関するお問い合わせ先

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 大倉、辰巳

TEL : 0774-75-2301 FAX : 0774-2-75-2314 E-mail: [pub\\_rite@rite.or.jp](mailto:pub_rite@rite.or.jp)

## ごあいさつ

気候変動政府間パネル(IPCC)の第5次評価報告書が刊行され、IPCCは、人間活動が20世紀半ば以降に観測された温暖化の主な要因であった可能性が極めて高い、と従来の報告書よりも更に強い確信度を持って気候変動に関する警鐘を鳴らしました。さらにIPCCは、今後の気候変動戦略立案において有用となり得る査読論文に基づく様々な長期排出緩和シナリオを提示しました。気候変動枠組条約では、新たに実効ある枠組み構築について議論がなされています。その枠組みと、各国の2020年以降の約束草案(Nationally Determined Contributions(NDCs))提出は2015年12月パリにおけるCOP21までになされる予定ですが、合意への道のりは平坦ではありません。日本も約束草案を提出しなければならず、またその前には国内エネルギーミックス計画を打ち出す必要がありますが、福島第一原子力発電の事故後の不透明なエネルギー政策も要因となり、容易に策定できるものではありません。

RITEでは、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」(通称ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization)を実施しています。この研究事業では、グリーン成長につながるようするには、温室効果ガス排出削減を中心とする温暖化緩和、温暖化の影響への適応策をどのように進めるべきなのか、また、どのような政策が有効なのかに焦点を当てた研究を行っています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所(IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis)、米国の未来資源研究所(RFF: Resource for the Future)をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進めています。

このたび、エネルギーと気候変動の両方において政策決定の重要な時期に、本研究事業の成果報告会として平成26年度ALPS国際シンポジウムを開催致します。また本シンポジウムには、この分野で活躍している国内外の著名な専門家をお招きし、ご講演頂きます。地球温暖化を抑制して持続可能な社会を実現するために必要な政策について、幅広い方々が最新の研究成果をもとに深く考えられる機会にしたいと考えますので多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

(公財)地球環境産業技術研究機構 山地 憲治

平成27年2月27日(金)  
10:00~17:35(受付開始9:30)

## 大手町サンケイプラザ

主催:公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE)  
共催:経済産業省

同時通訳あり  
参加無料

### 会場ご案内

#### 大手町サンケイプラザ 4Fホール

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 TEL:03-3273-2258~9

- 丸ノ内線・半蔵門線・千代田線・東西線・都営三田線  
各線 大手町駅 下車A4・E1 出口直結
- JR東京駅 丸の内北口 徒歩7分

### お申し込み・お問い合わせ

#### 公益財団法人

#### 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ

〒619-0292 京都府木津川市木津川台9-2

TEL:0774-75-2304 FAX:0774-75-2317



# 気候変動問題のための 実効性ある枠組みと評価 —COP21に向けて

平成26年度 ALPS 国際シンポジウム

FY2014 ALPS  
International Symposium

Effective Frameworks and  
Measures for Climate  
Change—Way to COP21

# 気候変動問題のための実効性ある枠組みと評価

—COP21に向けて

平成27年2月27日(金) 10:00～17:35(受付開始9:30)

大手町サンケイプラザ(東京都千代田区大手町1-7-2)

主催:公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE) 共催:経済産業省

定員  
200名

## プログラム

10:00	開会挨拶	山地 憲治 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 研究所長
10:05	来賓挨拶	経済産業省 産業技術環境局
10:10	講演	山地 憲治 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 研究所長 “COP21への約束草案作成に向けたわが国の取組み” Kenji Yamaji, Director-General, RITE “Japanese Perspective to the Nationally Determined Contributions for Global Climate Change Response”
10:50	講演	茅 陽一 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事長 “気候感度の不確定性を考慮した排出パスの再検討” Yoichi Kaya, President, RITE “Re-Examination of Emission Paths Considering Uncertainties of the Climate Sensitivity”
11:30	講演	ネボージャ・ナキシェノビッチ 国際応用システム分析研究所 副所長 “パリへの道:地球規模の誓約から各国約束とコベネフィットへ” Nebojsa Nakicenovic, Deputy Director/Deputy CEO, International Institute for Applied Systems Analysis (IIASA) “The Road to Paris: From Global Commitments to National Pledges and Co-Benefits”
12:15	休憩	
13:25	講演	カルロ・カラーロ ヴェネツィア大学 教授 “2020年以降の気候政策の評価:排出パス、投資、ファイナンス” Carlo Carraro, Professor, Venice University “Assessing Post 2020 Climate Policies: Emission Paths, Investments, Financing”
14:10	講演	杉山 大志 一般財団法人 電力中央研究所 上席研究員 “地球温暖化のリスク管理戦略” Taishi Sugiyama, Senior Researcher, Central Research Institute of Electric Power Industry (CRIEPI) “Risk Management Strategy of Climate Change”
14:55	休憩	
15:15	講演	ウィリアム・パイザー デューク大学 教授 “次期排出削減枠組み策定における削減努力の衡平性指標” William A. Pizer, Professor, Duke University “Comparability of Effort in International Climate Policy Architecture”
16:00	講演	ジョゼフ・アルディ ハーバード・ケネディスクール 助教授 “排出緩和の寄与の評価” Joseph E. Aldy, Assistant Professor, Harvard Kennedy School “Reviewing Emission Mitigation Contributions”
16:45	講演	秋元 圭吾 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー “2020年以降の排出削減目標に関する排出削減努力の評価” Keigo Akimoto, Group Leader of Systems Analysis Group, RITE “Evaluations on Emission Reduction Efforts of the Nationally Determined Contributions for the Post-2020 Periods”
17:30	閉会挨拶	本庄 孝志 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 専務理事

### 参加ご案内

2月20日(金)までに同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。当日はFAXされた申込書を受付にご提出ください。  
※定員(200名)になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。  
ご提供いただいた個人情報は、今後当機構の関係するイベント等のご案内のために利用させていただくことがあります。  
ご不要の方は、その旨お知らせください。

平成26年度 ALPS国際シンポジウム  
気候変動問題のための実効性ある枠組みと評価 — COP21に向けて

## F A X 参 加 申 込 書

この用紙に必要な事項をご記入の上、**2月20日(金)**までにFAXでお申込みください。  
申込書の受領をもって受付完了とさせていただきます。  
当日はこのFAX申込書を受付にご提出ください。

日 時：平成27年2月27日(金) 10:00～17:35 (受付開始9:30)  
場 所：大手町サンケイプラザ(東京都千代田区大手町1-7-2)  
アクセス方法：●丸ノ内線・半蔵門線・千代田線・東西線・都営三田線 各線 大手町駅 下車A4・E1 出口直結  
●JR東京駅 丸の内北口 徒歩7分

ご 氏 名	フリガナ	E-mail アドレス	
ご 所 属 機 関	フリガナ		
ご 所 属 部 署		お 役 職	
所 在 地 (ご 住 所)	(〒 - )	電 話 番 号	

※出席希望者多数の場合は先着順となりますので、あらかじめご了承ください。

※申込用紙一枚につき、お一人のお申込をお願いします。(複数名ご出席の場合は、お手数ですが本用紙のコピーをお使いください。)

※ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、RITEのイベント情報等のご案内のために利用させていただくことがあります。

シンポジウム当日は会場受付まで本申込書をお持ちください。

お申込み・  
お問合せ先

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 (RITE) システム研究グループ  
TEL 0774-75-2304 FAX 0774-75-2317 www.rite.or.jp

## 通 信 欄

今回の国際シンポジウムには参加しないが、所属・住所変更あり

・ご氏名

・ご所属機関

・ご所属部署・役職

・ご住所 〒

今後、案内状の送付は不要  その他( )